

放射線量の実態

東葛地区の各市に意外なほど高い放射線量が検出されていることはご存知だと思います。毎日テレビで報告される千葉県各市原「0.04」に比べけた多い「0.36」や「0.43」（単位はミリシーベルト）。これに対し、「東葛地区放射線量対策協議会の見解」が下記のように出されました。（我孫子市のホームページから）

- ・東葛地区の空間線量では、外部被曝による発癌の有意な増加は考えられない
- ・東葛地区で体内に摂取される放射性核種の量は、既に体内に存在している放射性核種の量に比較して、有意に大量ではない
- ・東葛地区の放射能汚染の現状が住民の生命を直ちに脅かすものではないが、住民の被曝線量を低減させるための努力を続けるべき

これに対し我孫子市では下記の講演会を計画しました。

日時 平成23年7月27日（水） 15時00分～16時30分

場所 中央学院大学 6号館 621教室（定員400名） **先着順**

演題 「正しく知って正しく怖がろう、放射線のこと」

講師 財団法人 電力中央研究所 原子力技術研究所 放射線安全研究センター長 吉田 和生 氏

吉田氏は、低線量の放射線の生物影響に着目した生物研究と合理的な放射線防護に向けた工学研究を推進されており、放射線についてわかりやすく解説していただきます。

※ 教室が定員に達した場合は、別教室（定

員90人）でのビデオ中継による受講となります。

なお、当該講演は、ADSL以上のブロードバンド環境があれば、聴講することができるようにインターネット生中継を予定しています。

（手賀沼課担当）

未曾有の原発事故に対して、若いお母さんたちの不安は頂点に達しています。この市の対応を見ても、「安全です」とは言い切っていません。

外部被曝に対し、できるだけ放射線を浴びないように、家に帰ったらホコリを落とし、うがいをする、といった注意も聞こえますが、インフルエンザと違って、放射線はDNAを傷つけます。一度傷つけられたDNAは修復されません。そのまま子孫に伝えられます。若い人の心配はその他、食生活からの内部被曝です。身体の中に入った放射性物質は、放射線を出し続けるのです。セシウム134の半減期は2年。セシウム137は30年です。

我孫子市消費者の会のテーマは「我孫子の暮らしを考えよう～次の世代のために」です。次の世代、その次の世代に大きなツケを残すことになった原発を許すことはできません。

市の「見解」の中の「既に体内に存在している放射性核種の量」とあるのは、戦後の超大国の核実験で、地球全体は汚染されてしまっているのです。そこへ今回のフクシマなのです。もうこれ以上、汚染を繰り返すわけには行かないのです。

我孫子市消費者の会では、千葉県の県民提案事業に応募して、講演会を開きます。脱原発社会を願うなら、自然エネルギーのことをもっと勉強しなければ、と考えました。次の講演会に是非ともご参加ください。

講演会

「脱原発から自然エネルギーへの期待」

日時 9月10日(土) 13:30~14:00

場所 アビホール

講師 NPO法人自然エネルギー政策研究所
主任研究員 松原 弘直氏

先着 150名(申込み不要)

入場 無料

所長の飯田哲也さんはテレビ各局に引っ張りだこ、とても予定が立たないと言うことで、松原さんが来てくださることになりました。

未だに原発推進派は「自然エネルギーなんて当てにできない、豊かな生活は送れない」とおっしゃいます。命が大切か、今の生活の維持が大切か?生きることの原点に返って考えましょう。

若いお母さん達をできるだけ誘ってください。

牛肉から放射性セシウム

エサの稲ワラが汚染され、牛肉から放射性セシウムが基準値の3倍から10倍検出されました。後手後手農政も批判されていますが、問題の根本は、放射性物質の危険性について、今まで誰も教育されてこなかった「原発安全神話」にあります。今回の事故も、「直ちに危険はない」ばかり発表されては、農家を不勉強だと誰が非難できるのでしょうか。「知らなかった。消費者の皆さんにご迷惑をかけてしまった。あれさえなかったら」と声を詰まらせる農家の方の苦渋は、いかばかりかと、こちらが胸が痛みました。

極端かも知れませんが、高齢者は大いに食べましょう。これも支援の一つです。

未来のある若い方、子どもには食べないように声をかけましょう。そう言っても「何を食べたらいいの?」と言われると、私には答えられないのが現実です。

今年もかかしを作りました

根戸新田の手賀沼トラストの田圃に、今年もかかしを作るので一緒に、とお誘いがあり、7月16日に作りました。

一つは栗原洋子さんのアイデアで、「当分引退しないぞ ナマズ大王」というかかしです。原発の危険マークと手には風力発電。太陽光発電の札をさげています。

もう一つ、竹中さんと山口さんが作ったのは、「リストラ反対~ワーキングシェアで被災地にも仕事を~」サラリーマンの悲哀を表したかかし。消費者の会は「社会派かかし」です。

30日に設置します。8月20日頃まで立っています。見てください。

8月定例会は休み

9月定例会は我孫子北近隣

9月5日(月) 13:30~16:00

我孫子北近隣センター(並木本館)

2F 第3会議室

場所が変わります。お間違いなく。

廃棄物の現状と課題から

7月4日の定例勉強会として、クリーンセンター所長鈴木さんとリサイクル担当野村さんから廃棄物関連のお話を伺いました。

①3. 11の液状化による損壊家屋の廃棄物が増え、今年度はごみの減量化目標は達成できない。

②資源化事業は市民の協力により順調。11種18分別。生ごみの資源化も泉、青山台、若松が定着したので、今年は拡大したい。

これに対し早速、つくし野地区等ができると思うので自治会長に働きかけを、とアドバイス。生ごみの破袋機が入ったので、普通にポリ袋に入れて大丈夫と。

全国平均20.5%の資源化率は我孫子では39.8%。27年度の目標は42%。

③焼却炉の使用限度が近づき、今後の方針を検討中。自区内処理の原則が見直されつつあり、柏と共同処理をすることも検討中。

これに対し、我孫子がこれまでに培ってきた市民の協力という良い点が、くずされないよう望む、という意見が出ました。

請願書採択

6月の我孫子議会に請願書を出しました。採択され意見書が国等に送られました。裏面参照。

~ ~ ~ ~ ~

熱中症にかからないように!

時々大きな地震

がありますね。気をつけて!!

